産業構造

工・商・農がバランス良く発展した県内有数の産業都市

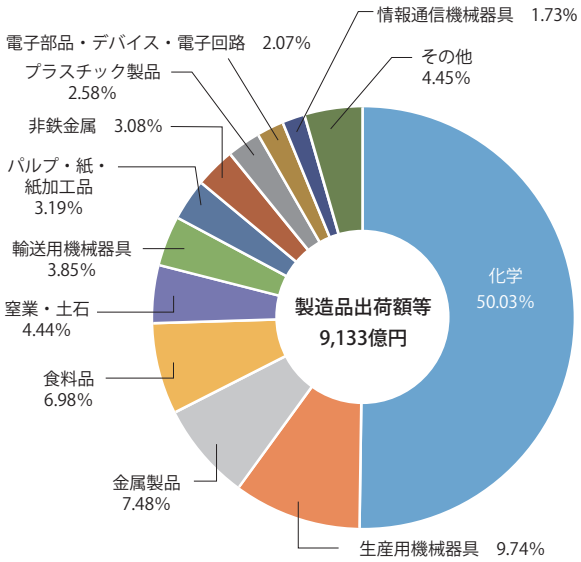
工業、商業、農業ともに県内で上位に入るバランスのとれた産業都市です。企業が集積した工業団地や工業集積地が多数存在し、高度な技術力を有する多彩な企業が活躍しています。


御稜威ヶ原工業団地

工業
製造品出荷額等
9,133億円
県内2位

商業
商品販売額
6,792億円
県内5位

農業
農業産出額
70億円
県内6位



※出典
製造品出荷額等：令和３年経済センサス活動調査
商品販売額：令和３年経済センサス活動調査
農業算出額：令和５年市町村別農業算出額（推計）

人材育成

人材の原石を磨く充実した教育機関

本市には立正大学、７校の高等学校、埼玉県農業大学校をはじめとする各種専修学校等があり、充実した教育機関から有為な人材が多数輩出されることが期待されます。


立正大学

大　学
- 立正大学

専修学校
（順不同）
- 埼玉県農業大学校
- 埼玉県立熊谷高等技術専門校
- アルスコンピュータ専門学校　他

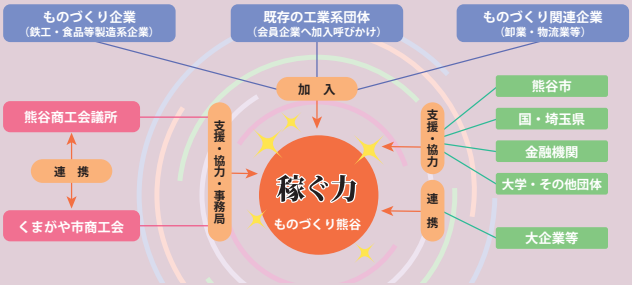
高等学校
（設立順）
- 埼玉県立熊谷高等学校
- 埼玉県立熊谷女子高等学校
- 埼玉県立熊谷工業高等学校
- 埼玉県立妻沼高等学校
- 埼玉県立熊谷農業高等学校
- 埼玉県立熊谷商業高等学校
- 埼玉県立熊谷西高等学校

ソシオ熊谷（協同組合　熊谷流通センター）


ソシオスクエア

ソシオ熊谷は、熊谷市を代表する卸商業団地で、共同物流センターを有する卸商業団地としては全国最大規模です。
平成29年４月に秩父鉄道「ソシオ流通センター駅」が開業、平成31年４月には第２北大通線が全線開通し、アクセスが向上しました。令和７年10月には『ソシオスクエア』が 開設され、「熊谷商工会議所」の事務所も同施設内へ移転し、本市の産業の拠点となっています。

ものづくり熊谷
MONOTSUKURI KUMAGAYA



ものつくり熊谷は、地域の「稼ぐ力」の創出のため、ものづくり企業を中心に、大学、行政、金融機関等の参画により、新たなビジネス機会の創出に取り組む、熊谷版ネットワーク拠点です。
関係機関との連携のもと、会員企業が顧客から選ばれる企業になるために、企業価値の向上のための情報・知識の獲得やビジネスマッチングに取り組んでいます。